

平成 30 年 11 月 6 日

各 位

ConsenSys  
株式会社新生銀行

## コンセンシスとのブロックチェーン技術活用に関する基本合意について

株式会社新生銀行(東京都中央区、代表取締役社長 工藤 英之、以下「新生銀行」と)、ConsenSys(米国ニューヨーク州、代表者 ジョセフ・ルービン、以下「コンセンシス」)は、ブロックチェーン技術活用を検討するための基本合意に関する覚書を平成 30 年 11 月 6 日付で締結しましたのでお知らせします。

コンセンシスは、イーサリアムプロジェクトの創業メンバーの一人であるジョセフ・ルービン氏が 2014 年に設立したブロックチェーン技術を使った開発環境を提供する企業です。コンセンシスは、次々と新しいビジネスを生み出すスタートアップスタジオであると同時に、分散型アプリケーション(DApps)の開発環境や大企業向けのソリューション、ブロックチェーン技術を活用したエコシステムの開発ツールや教育プログラムを提供するブロックチェーンの開発コンサルタント会社でもあります。加えて、同社は資本市場でも数多くの取り組みを行っています。また、ビットコインに次ぐ時価総額が現時点で第 2 位の仮想通貨(通貨単位「イーサ(Ether)」)を基軸にするネットワーク上のブロックチェーンプラットフォーム「イーサリアム(Ethereum)」を構築しています。

今般の基本合意により、新生銀行グループとコンセンシスは、新生銀行グループの業務・サービスにおいて、コンセンシスが持つ分散型アプリケーションや、お互いのインフラやプロトコルを活用していきます。その第一弾として、新生銀行が 50%の議決権を有する香港の資産運用サービス専門銀行 Nippon Wealth Limited, a Restricted Licence Bank において、銀行プラットフォームにおけるブロックチェーン技術を活用した業務・サービスの立ち上げに向けた検討を開始する予定です。

IT技術の進展により、ますます飛躍的に変化が加速していく金融業界において、金融事業者は新たな技術を通じて革新を起こし、さまざまな分野で競争優位性を維持することが不可欠になっています。新生銀行グループとコンセンシスは、ブロックチェーン技術を基盤とした多様かつ高度な金融サービスの構築を目指していきます。今後は、本基本合意を通じ、新生銀行のお客さまの多様化するニーズに対応してまいります。

### ■ コンセンシスの概要

コンセンシスは、分散型アプリケーション(DApps)や大企業向けのソリューション、ブロックチェーン技術を活用したエコシステムの開発ツールなどを開発するベンチャー企業であり、ブロックチェーン開発のコンサルタントです。

業 種 : ブロックチェーンソフトウェア  
設 立 : 2014 年 11 月  
代 表 者 : ジョセフ・ルービン(ファウンダー)  
本 社 : 米国ニューヨーク州ブルックリン  
APAC オフィス : シンガポール、フィリピン、シドニー、香港(準備中)  
プレス連絡先 : PR@consensys.net  
ウェブサイト : www.consensys.net

以 上